



2027年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年9月10日

上場会社名 株式会社タイミー 上場取引所 東
コード番号 215A URL <http://corp.timee.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 小川 嶺
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 八木 智昭 (TEL) 03(6822)3013
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2027年4月期第1四半期の連結業績(2026年5月1日～2026年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年4月期第1四半期	10,443	—	1,937	—	1,888	—	1,273	—
2026年4月期第1四半期	10,856	—	2,108	—	2,082	—	1,439	—

(注) 包括利益 2027年4月期第1四半期 1,274百万円(—%) 2026年4月期第1四半期 1,436百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年4月期第1四半期	12.76	12.07
2026年4月期第1四半期	14.29	13.49

(注) 1. 2025年10月期連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、2026年4月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

2. 2026年4月期は決算期変更により2025年11月1日から2026年4月30日までの6ヶ月間の変則決算となっております。このため、2026年4月期第1四半期(2025年11月1日から2026年1月31日まで)と2027年4月期第1四半期(2026年5月1日から2026年7月31日まで)は比較対象期間が異なるため、対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年4月期第1四半期	36,487	17,044	46.6
2026年4月期	37,653	15,991	42.4

(参考) 自己資本 2027年4月期第1四半期 17,014百万円 2026年4月期 15,964百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年4月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2027年4月期	—	—	—	—	—
2027年4月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年4月期の連結業績予想（2026年5月1日～2027年4月30日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期(累計)	22,056		3,997		3,986		2,797		27.81
	～22,560	—	～4,388	—	～4,377	—	～3,188	—	～31.70
通期	47,613		8,821		8,806		6,002		59.69
	～48,823	—	～9,746	—	～9,731	—	～6,927	—	～68.89

- （注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無
2. 2027年4月期の連結業績予想については、レンジ形式により開示しております。詳細は、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
3. 2026年4月期は決算期変更を行い、2025年11月1日から2026年4月30日までの6ヶ月間の変則決算となるため、2027年4月期の対前期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

- （1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年4月期1Q	100,743,000株	2026年4月期	100,743,000株
② 期末自己株式数	2027年4月期1Q	1,007,203株	2026年4月期	824,003株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年4月期1Q	99,735,797株	2026年4月期1Q	100,683,000株

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。また、2026年4月期は決算期変更により2025年11月1日から2026年4月30日までの6ヶ月間の変則決算となっております。このため、前第1四半期連結累計期間（2025年11月1日から2026年1月31日まで）と当第1四半期連結累計期間（2026年5月1日から2026年7月31日まで）は比較対象期間が異なるため、前年同四半期連結累計期間との対比は行っておりません。

当社グループは、「一人ひとりの時間を豊かに」というビジョンのもと、「「はたらく」を通じて人生の可能性を広げるインフラをつくる」をミッションに掲げ、有料職業紹介事業として「働きたい時間」と「働いてほしい時間」をマッチングするスキマバイトサービス「タイミー」を全国へ展開しております。従来の求人媒体型サービスと異なり、「タイミー」でマッチングする業務はクライアントとワーカー（注1）の1日単位の直接雇用となっております。

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、雇用及び所得環境の改善やインバウンド需要の増加等により緩やかな景気の回復が見られる一方で、不安定な国際情勢や継続的な物価上昇に加え、金融政策による金利上昇などにより、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

労働市場においては、政府が主導する「年収の壁」への対応策が進められており、持続的な所得向上への期待が高まっているほか、各都道府県における地域別最低賃金が継続的に引き上げられております。2026年7月には、厚労相の諮問機関である中央最低賃金審議会により最低賃金を全国平均で昨年度から55円増加の1,176円とする目安が示されており、今後もさらなる賃金の上昇が見込まれております。

加えて、人口減少や少子高齢化に伴い社会全体での人手不足が恒常化する中、企業の外部人材の受け入れや多様な働き方へのニーズが広がり、新しい「働き方」を提供する当社グループへの需要は今後更に拡大していくものと考えております。

このような我が国の社会・経済環境のもと、当社グループを取り巻く市場環境としては、深刻な人手不足を背景に、マッチング事業として人材流動化を促進し、物流業や小売業を中心とした登録クライアント事業所数及びアクティブアカウント数（注2）が引き続き増加しているほか、広告媒体ごとの広告市況や顧客の反応、CPI（注3）を随時モニタリングしながらマーケティング効率の向上に努めており、主にワーカー向けのデジタル広告によるマーケティング活動により、登録ワーカー数においても大幅に増加しております。また、当第1四半期連結累計期間における稼働率（注4）は86.3%と引き続き高水準を維持しており、これは、コアワーカー（注5）の拡大により安定した稼働を実現できたことによるものであります。

業界別の動向といたしましては、介護福祉業界への展開に向けた取り組みが順調に進捗し、業界に特化した新機能の連続リリース等も奏功して高成長を維持しております。また、飲食業界においては、給食・食堂運営等のコントラクト業務への展開やソリューション提案の強化により、当第1四半期連結会計期間に売上高成長率のプラス転換を実現いたしました。一方で、物流業界につきましては、外部環境や一部クライアントの取扱数量減少等の影響を受けたものの、引き続きフィールドマネージャーを通じた体制強化や既存大手クライアントの深耕を推進するなど、施策を着実に進めております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間において登録ワーカー数は1,472万人を超え、また、登録クライアント事業所数は48.8万拠点を超えて、流通総額（注6）は33,687百万円となりました。

また、当第1四半期連結累計期間における売上高は10,443,623千円、営業利益は1,937,534千円、経常利益は1,888,600千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,273,374千円となりました。

（注1）本文中の「ワーカー」はすべて「スポットワーカー」のことを指す

（注2）月に少なくとも1つの求人情報を掲載した登録クライアント事業所数

（注3）Cost Per Installの略であり、新規ワーカーの一人あたり獲得コスト

（注4）2027年4月期第1四半期の稼働人数を募集人数で除して算出

（注5）ひと月あたり8回以上就業する既存ワーカー

（注6）ワーカーに支払う賃金報酬等の合計額

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は33,081,210千円となり、前連結会計年度末に比べ1,471,463千円減少いたしました。これは主に、冷夏、中東情勢および一部物流大手企業の取扱数量減少に伴う影響などにより、売掛金が101,476千円減少、賃金報酬等の立替金が501,527千円減少し、それに伴う短期借入金の圧縮等により現金及び預金が560,021千円減少したことによるものであります。また、当第1四半期連結会計期間末における固定資産は3,406,554千円となり、前連結会計年度末に比べ305,478千円増加いたしました。これは主に、支社オフィスの移転に伴い差入保証金が265,315千円増加したことに加え、株式会社タイミーフィナンシャルの設立に伴い関係会社株式が100,000千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、36,487,765千円となり、前連結会計年度末に比べ1,165,984千円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は18,893,450千円となり、前連結会計年度末に比べ2,183,966千円減少いたしました。これは主に、返済により短期借入金が1,200,000千円減少、法人税等の支払いに伴い未払法人税等が719,366千円減少したことによるものであります。また、当第1四半期連結会計期間末における固定負債は550,240千円となり、前連結会計年度末に比べ34,980千円減少いたしました。これは主に、借入返済に伴い長期借入金が34,980千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、19,443,690千円となり、前連結会計年度末に比べ2,218,946千円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は17,044,074千円となり、前連結会計年度末に比べ1,052,962千円増加いたしました。これは主に、当第1四半期連結累計期間において親会社株主に帰属する四半期純利益1,273,374千円を計上したことに伴い利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年4月期の連結業績予想につきましては、2026年6月11日に公表した内容から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,540,436	15,980,414
売掛金	4,203,948	4,102,471
未収入金	9,755	8,841
立替金	12,612,541	12,111,014
前払費用	785,782	923,470
預け金	447,587	—
貸倒引当金	△47,378	△45,001
流動資産合計	34,552,673	33,081,210
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	714,921	736,151
車両運搬具	6,588	6,588
工具、器具及び備品	803,909	850,405
建設仮勘定	9,570	22,330
減価償却累計額	△571,507	△629,328
有形固定資産合計	963,481	986,146
無形固定資産		
のれん	320,620	308,289
無形固定資産合計	320,620	308,289
投資その他の資産		
投資有価証券	28,943	30,013
関係会社株式	—	100,000
出資金	35	35
差入保証金	541,929	807,244
長期前払費用	87,075	68,570
繰延税金資産	1,158,989	1,106,255
投資その他の資産合計	1,816,973	2,112,118
固定資産合計	3,101,075	3,406,554
資産合計	37,653,749	36,487,765

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年7月31日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	13,500,000	12,300,000
1年内返済予定の長期借入金	139,920	139,920
未払金	2,594,229	2,444,642
未払費用	2,414,252	2,250,767
前受金	12,173	20,079
返金負債	5,226	6,355
預り金	153,140	316,514
賞与引当金	349,916	218,616
役員賞与引当金	96,846	15,673
未払法人税等	1,346,057	626,690
未払消費税等	465,655	554,191
流動負債合計	21,077,417	18,893,450
固定負債		
長期借入金	585,220	550,240
固定負債合計	585,220	550,240
負債合計	21,662,637	19,443,690
純資産の部		
株主資本		
資本金	243,363	243,363
資本剰余金	7,120,156	7,120,156
利益剰余金	9,652,602	10,925,976
自己株式	△1,051,260	△1,275,670
株主資本合計	15,964,861	17,013,826
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	1,070
その他の包括利益累計額合計	—	1,070
新株予約権	26,250	29,178
純資産合計	15,991,112	17,044,074
負債純資産合計	37,653,749	36,487,765

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年11月1日 至 2026年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年5月1日 至 2026年7月31日)
売上高	10,856,010	10,443,623
売上原価	853,217	1,079,698
売上総利益	10,002,792	9,363,925
販売費及び一般管理費	7,894,270	7,426,390
営業利益	2,108,522	1,937,534
営業外収益		
受取利息	338	588
ポイント収入額	4,922	3,870
雑収入	9,721	1,710
営業外収益合計	14,982	6,169
営業外費用		
支払利息	39,937	43,137
支払手数料	—	10,812
固定資産除却損	719	118
雑損失	—	1,034
営業外費用合計	40,657	55,103
経常利益	2,082,846	1,888,600
税金等調整前四半期純利益	2,082,846	1,888,600
法人税、住民税及び事業税	711,345	562,491
法人税等調整額	△67,883	52,734
法人税等合計	643,461	615,226
四半期純利益	1,439,385	1,273,374
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,439,385	1,273,374

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年11月1日 至 2026年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年5月1日 至 2026年7月31日)
四半期純利益	1,439,385	1,273,374
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,030	1,070
その他の包括利益合計	△3,030	1,070
四半期包括利益	1,436,354	1,274,444
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,436,354	1,274,444

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2025年11月1日 至 2026年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 財務諸表 計上額
	タイミー事業				
売上高					
外部顧客への売上高	10,539,523	316,486	10,856,010	-	10,856,010
セグメント間の内部売上高 又は振替高	31,608	-	31,608	△31,608	-
計	10,571,132	316,486	10,887,618	△31,608	10,856,010
セグメント利益又は損失(△)	2,165,994	△57,471	2,108,522	-	2,108,522

(注1) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、タイミーソリューションズ事業を含んでおります。

(注2) 調整額はセグメント間取引消去であります。

当第1四半期連結累計期間(自 2026年5月1日 至 2026年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 財務諸表 計上額
	タイミー事業				
売上高					
外部顧客への売上高	9,909,996	533,627	10,443,623	-	10,443,623
セグメント間の内部売上高 又は振替高	66,815	-	66,815	△66,815	-
計	9,976,811	533,627	10,510,439	△66,815	10,443,623
セグメント利益又は損失(△)	1,981,624	△44,089	1,937,534	-	1,937,534

(注1) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、タイミーソリューションズ事業を含んでおります。

(注2) 調整額はセグメント間取引消去であります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年11月1日 至 2026年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年5月1日 至 2026年7月31日)
減価償却費	71,417千円	79,166千円
のれん償却額	12,331千円	12,331千円